

楽しく安全で充実した夏休みを

校長 菊地 裕幸



早いもので、令和6年度(2024年度)が始まり約4か月が経過しました。本年度は、これまでのおと高にはなかった新たな取組をスタートさせました。1つは服装自由化(制服選択制)です。

令和3年度(2021年度)の終わり頃に、先生方と生徒の皆さんで組織された身だしなみ検討委員会が立ち上げられ、約2年にわたる検討の結果、生徒個々の判断でTPOに合わせたふさわしい服装で登校し授業を受けることとしました。背景には、保護者の経済的負担を考慮することや校則の見直し、性的マイノリティだけでなく、多様な背景を持つ生徒への理解や対応を求められたことなどがあります。特に近年、夏の高温多湿の状況下では、生徒たちはわずかも快適に授業を受けられるのではと期待するとともに、本校の学校教育目標でもある「創造力を育成」や「個性を生かし」の実現を目指す上でも重要なことと考えています。もう1つは、更なる地域との連携強化です。音威子府村第2期音威子府村まち・ひと・しごと創生総合戦略では、本校を中心に据えた村づくりが示されており、本校の役割はとても大きいものとなっています。3年生の総合的な探究の時間では、ふるさと納税の返礼品に添える生徒作品(木製コースターとポストカード)を制作し、作品を通して多くの方々に学校と村について知っていただく取組、株式会社セコマとのコラボ商品(ポイント交換商品:木製コースター〈おと高スター〉)の開発、各種ボランティア活動など、これまで以上に社会や他者を意識することを重視した活動に取り組んでいます。このことについても前述の「創造力を育成」、「個性を生かし」

には欠かすことはできません。他者と協力し、新たな価値を創り出すために、自分の生き方だけでなく在り方を考えながら課題を発見して解決していく能力を養うための教育活動を充実させてまいります。

さて、夏季休業を迎えるに当たり、生徒の皆さんに大切にしたいもの、それは「時間」です。高校生である皆さんが大きく成長できる長い夏休みという「時間」。大人である我々も、だらだらと過ごしてしまう「時間」は、あっという間に過ぎ去ってしまい、何も残りません。有意義に過ごすためにも規則正しく生活し、計画を立て、目標を持ち、大きく飛躍するための力を蓄える「時間」となるよう努めてください。また、川や海での水の事故、(被害者にも加害者にもなり得る)交通事故、脱水や急に暑くなったために起こる熱中症など、様々なことに十分気を付け、楽しく安全で充実した夏休みとなることを期待しています。

それでは生徒の皆さん。心身ともにリフレッシュし、夏休み明けの8月16日(金)に110人生徒全員、ひと回りたくましく成長した姿で会えることを楽しみにしています!

「入学後はじめての長期休みへ」

1学年担任 濱村 ゆきの

入学して約3ヶ月、短いながらもすでに様々な出来事がありました。

学校生活や寮生活といった日常のことから、宿泊研修や学校祭といった大きな行事などを乗り越えて、日々少しずつ成長を見せてくれていま



す。

特に、直近の学校祭では全員でひとつのものを作り上げるということで、個人制作とは違って自分のやりたいことだけを考えるわけにはいきません。お互いの意見をすりあわせながら、はじめてで上手くいかないこともあるなかで非常によく頑張ってくれました。帰省の折、ご家庭でも成長を感じられましたら是非お子様を褒めたり労ったりしていただければと思います。

さて、本校の夏休みでは他校と違って部活動がありません。多くの時間がある分、それをどう上手く使っていくかは自分次第です。休息も大事ですが、夏休み明けに良いスタートをきれるよう、ダラダラしすぎないように自分を律する必要があります。たとえば、夏休みが明けてすぐに前期中間考査があります。それに備えて、この3ヶ月の勉強を復習する時間をとるのも良いでしょう。芸術系の進学を考えている人は、夏のオープンキャンパスへ参加したり、テッサンに取り組むのも良いでしょう。自分の表現の幅を広げるために、美術館や博物館へ足を伸ばすのもオススメです。

せっかくの長い夏休みです。時間を活かして充実した日々を過ごしてもらえたらと思います。夏休み明け、みなさんが良い顔で学校に戻ってくることを期待しています!

「飛躍の2年生」

2学年担任 佐野 秀斗

あっという間に一年が過ぎ、40名全員が2年目を迎えました。2年生の

テーマは「自己管理」です。一人一人が目標に向かい、スケジュール管理や体調管理などさまざまなことを自分で管理することが求められます。3年生になる前に身につけておけば本番を迎える時には余裕をもって行動できると考えます。少しずつ「自己管理」をしていきましょう。



学校祭では一人一人が役割を担い、昨年の経験を活かしながら作業していました。作業が始まる前には脚本や道具リストができていたり、役者のオーディションをしたりと発表をより良くするためにさまざまな事を考え、相談しながら進めていた姿に成長を感じました。

9月にはデザインスクールを控えています。新たな発想力や創造力を身につけたいですね。夏休み中は体を休めつつ、進路活動や自分の余暇の時間を楽しんでほしいと思います。

「最高学年として」

3学年担任 久保 亜紀子

3年生になってから何日・何か月経ったかよりも、あと何日みんなと

過ごせるのかと計算することの方が多くなりました。思い返すと学校祭や行事の度にあれこれ心配をしていたのですが、今年に入ってから心配が無いわけではないのですがそれ以上に「みんななら大丈夫でしょう」と見守ることが増えました。最高学年になったからというのはあると思います。先輩として後輩たちを引っ張る姿をよく目にするようになりました。また、自分たちで考えて行動することもできるようになったことも大きいと思います。

3年生は4月に無事、見学旅行に行くことができました。見学旅行では京都・大阪をまわり、自分たちで自主研修の予定をたてて、各班充実した経験を得ることができたようです。

学校祭が終わればよいよ卒業後の道に向けて進路活動が本格化します。進路活動はだれより自分が一番頑張らなければならないものです。生徒の皆さんにはしっかり計画をたてて夏を過ごし、ご家族の方にはその努力にご協力と応援をいただきたいと思います。

この夏とおと高での残り時間を大切にしながら過ごしましょう。



●おと高 Story

《木の手づくり展in旭川・札幌》

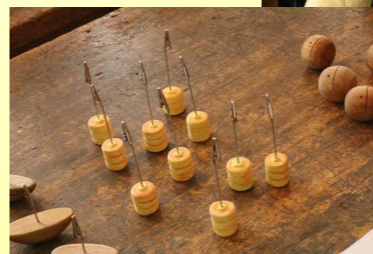
本校生徒の木工作品等を展示する「木の手づくり展」旭川展を6月29日(土)～30日(日)旭川市民文化会館にて、札幌展を7月26日(金)～28日(日)かでの2・7にて開催しました。

授業で作った作品や、課題研究の授業の中で取り組んだ卒業制作など約200点を展示しました。また、旭川展1日目・札幌展2日目にはそれぞれ本校生をアシスタントとして木工ワークショップを開いたり、中学生向けの進路相談コーナーを設置したりして、本校の教育活動について紹介しました。会場には昨年度を大幅に上回る来場者(旭川展234名、札幌展323名)が訪れ、興味深く作品に見入っていました。

会場の設営には毎年保護者様の御協力をお願いしておりますが今年度も多数お集まりください、本当にありがとうございました。



でした。生徒の皆さん一人ひとりに労いの言葉をかけたい、そんな「おと高祭」でした。



《学校祭》

7月20日(土)、21日(日)に『おと高 爆発』をスローガンとして学校祭が開催されました。

コロナ禍明け2年目となった今年度は、昨年度の反省を元に改善を図りつつ、保護者様から多くの御協力を得てキッチンカー・露店販売等を行うことができました。道外からの保護者様にも御参加いただき、「おと高」のつながりの広さを感じる学校祭となりました。

第1日恒例の「舞台発表」では、おと高生の美的センスを活かした舞台装飾が目をつけたのは勿論、キャストの生徒さんの演技力の高さには驚かされました。

初日から最後の後夜祭に至るまでさまざまな趣向を凝らした企画は、生徒会役員をはじめ、各担当者のアイデア力と努力の賜(たまもの)

